

第4回日進市史編集委員会 議事録

- 1 日 時 平成24年10月17日(水) 午後1時～午後2時10分
 2 場 所 日進市役所 第2会議室
 3 出席者 浅井常典委員、林董一委員、山本文次委員、田中八隆委員
 4 欠席者 服部誠委員
 5 事務局 武田教育部長、鈴木教育部次長兼生涯学習課長、檜垣生涯学習課主幹、
 長原市史文化財係長、菅原主任
 6 報告事項 (1)市史編さん事業の進捗状況について
 7 議 題 (2)刊行スケジュールについて
 (3)自然編・民俗編の巻構成等について
 (4)その他

発言者	発言内容
事務局	ただいまより、第4回日進市史編集委員会を開始いたします。 はじめに、日進市史編集委員会代表の浅井常典様よりご挨拶をお願いいたします。
代表	【挨拶】自然・民俗両部会の委員が精力的に調査され現在に至っておりますが、そろそろこれまでの成果を執筆という形で具現化する時期にきています。不安もありますが、良い結果を出せるようにできる限り力を尽くしたいと思っています。
事務局	次に、報告事項に移ります。 このあとの議事進行は代表の浅井様をお願いいたします。
代表	では、報告事項(1)市史編さん事業の進捗状況について、事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料に沿って説明】 【要旨】 平成23年8月開催の第3回編集委員会以降、現在までの市史編さん事業の進捗についてご説明します。 自然部会は、年1回の全体会議及び毎月1回専門部会会議を開催し、調査の進捗の確認・情報交換等を行っております。自然部会は各委員が個別に実施している確認調査・資料のまとめなどが大きなウエイトを占めており、その他に合同調査を行っております。また、広報にしんなどで「しぜん調査隊」を募集し、調査等を行いました。 民俗部会は、大字区ごとに2回ずつ行う合同聞き取り調査が調査活動の中心を占めておりますが、この1年間に6大字区で聞き取り調査を実施しました。これまでの通算で、大正から昭和初期にお生まれの方延べ約300名にお話を伺いました。また、各委員が個別にお祭りの行事や池の封切神事、地藏盆、お精霊送りなどの行事について取材等を実施いたしました。
代表	ご質問・ご意見等ありましたらお願いします。
委員	自然部会の「しぜん調査隊」の活動に2回ほど委員として参加したが、参加者が継続的に参加しており、子どもたちが自然に親しむいい機会になっていると思います。以前、地域の方を交えた市史編さんを、とのご意見があったと思うが、それを具体化した取組みであり、市民に市史に親しみを感じてもらえる企画であると思います。
代表	他にご質問や補足等はございませんか。
委員	自然部会ですが、動物の場合は自然の中での姿を写真に収めることが難しい状況です。この点については、担当分野の枠を超えて、他の委員と有機的に繋がりながら協力し合って進めております。また、「しぜん調査隊」のような子どもを巻き込んだ企画は日進市の未来にとって大変意義のあることであり、今後の取組みに期待したいと思います。

委員	民俗部会については、各大字区の合同調査では、話の内容に偏りがあつたりお聞きしたいことが抜けていたりしており、今後個別に追加の調査を行う必要があると思っております。また、話者の方がとてもいい笑顔で帰っていかれ、地域のコミュニティー作りにも役立っているという印象を受けました。もう一点は、調査を行う過程で多くの資料が集まってきており、それらの整理は市史編さんのためには大事なので、人員の配置をしっかりとっていただき、資料の公開についても考えていただきたいと思います。
委員	部会が非常に充実していると思えます。委員どうしのコミュニケーションがよく、会議などで常に情報交換等を行うことで有意義なものとなっていると考えております。
委員	各部会とも委員の方が精力的に調査されて順調に進捗しているとのことで、有難いと思っております。
代表	他にご意見等はございませんか。 ないようですので、指摘事項をふまえつつ、引き続き市史編さん事業を進めていただきたいと思います。よろしくお願いたします。
代表	次に、協議事項に移ります。 では、協議事項(1)発刊スケジュールについて事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料に沿って説明】 【要旨】 発刊スケジュールについては、編さん委員会は平成 21 年度から年 1 回ずつ、編集委員会は平成 22 年度から年に 1~2 回実施してきました。今年度も編さん会議を 1 回、編集会議は 1~2 回開催する予定です。 次に、自然部会ですが、調査が順調に進捗していることもあり、本来は来年度から開始予定であった執筆開始を、今年度に可能な部分から始めるよう変更をしたいと考えております。印刷については、自然編は本文編と目録編の 2 冊であること等により、平成 26 年度の当初には契約できるよう準備を進めたいと考えております。 また、民俗部会ですが、執筆は来年度の 4 月から開始します。提出された原稿は、部会で内容を精査・校正し、ほぼ完璧な原稿を平成 26 年度の途中で契約・入稿を行う予定で、発刊は自然編と同時の平成 26 年度末としております。 最後に広報については、引き続き「広報にっしん」に市史のページをいただき P R を行ってまいります。なお、今年度から来年度にかけて、各小学校に協力いただき風向調査を実施する予定です。
代表	ただいまの説明に対しご質問・ご意見等ありましたらお願いします。
委員	自然部会の個別調査・合同調査が平成 24 年度末で終了となっておりますが、来年度の 8・9 月ごろにも季節性のある生物の調査を引続き行う必要があると思っております。執筆と平行して行うことにすることは可能でしょうか。
事務局	おっしゃるとおりです。自然部会の中では、執筆と平行して調査を続けるとの議論がされております。スケジュールに反映されておらず申し訳ございませんでした。修正させていただきます。
委員	わかりました。
代表	他にご意見ご質問などはございませんか。
委員	風向調査の件ですが、風速も調査をされる予定ですか。
事務局	風向調査は、各小学校の校庭をお借りして、市民に協力いただき、同日の同時刻に一斉に測定するという計画で、可能なら風向風速計を使用して風向と風速の調査を実施したいと考えておりますが、蚊取線香を使用した調査とになるかもしれません。その場合は、風向調査のみ行うことも考えております。
委員	どの程度のレベルのものかは分かりませんが、中学校に風向風速計があればお借りして風速を測定することができるのではないのでしょうか。

委員	簡易風向風速計の場合ですと、風速6メートルとか10メートルなどの場合は測定できるが、風速1~2メートルなどの微風の場合は測定が難しいと思います。
委員	気象庁が煙突の煙のたなびき方で風速を測定する目安を示しており、10段階ほどに分類していると思います。ですから、線香の煙により風速を測定することも無理ではないと思います。
事務局	他の自治体で実際に蚊取線香を使用して風速調査を行ったところがあるそうですので、できないことではないと思います。中学校が風向風速計を持っているかどうかを確認するとともに、今後計測方法を検討します。
代表	他に、ご意見はございませんか。
委員	以前にも申しましたが、自然編と民俗編の編集・発刊の時期が重なっているため、事務局の負担はかなり重くなると考えられます。この発刊スケジュールを進めるなら、今後、自然編と民俗編のそれぞれに1人ずつ市史だけを行う専任職員を配置しなければ、同時発刊は難しいと思います。
委員	その点については委員のひとりとして不安に感じております。今の事務局体制は、他の文化財関係の業務を兼ねており、市史編さん業務のみを行う専任職員はいない状況です。ただいまのご指摘について考慮していただけたらありがたいと思います。
事務局	わかりました。
代表	他に、ご質問等はございませんか。 ないようですので、事務局より提案がありました協議事項(1)発刊スケジュールにつきましては、本日ご指摘いただいたことについて確認等を行っていただくこととし、編集委員会として承認することとしてよろしいでしょうか。
各委員	異議なし
代表	それでは、(1)発刊スケジュールについては編集委員会として承認いたしました。今後、期日までの市史の完成を目指して、スケジュール管理に努めていただきますようよろしくお願いいたします。 次に協議事項(2)自然編・民俗編の巻構成等について、事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料に沿って説明】 【要旨】 自然編・民俗編の巻構成等ですが、まず判の大きさについてはいずれもB5判とし、自然編は1段組の横書き、民俗編は2段組の縦書きの予定です。なお、自然編は本文編と目録編の2冊で1巻と考えております。 まず、自然編の内容についてですが、前回から変更となっている部分は、第6章を「日進の自然」に変更している部分です。細かなページ割りは今後変更になる可能性があります。目録には「しぜん調査隊」からのデータも発見者の名前を含め、できる限り掲載したいと考えております。 次に民俗編の内容ですが、前回お示ししたものと変更はございませんが、今後の調査の結果により変わる場合もございます。なお、索引につきましては、用語取り上げの基準が難しい点もあり、付けるかどうか部会で議論しているところです。
代表	ただいまの事務局の説明に関して、ご意見・ご質問等はございませんか。
委員	日進市の自然に関しては、地下水が大きなウエイトを占めていると思います。地下水が豊かな所に製麺所があるなど、人の暮らしとの関わりも大きいので、自然編か民俗編のどこかで取り上げてはどうかと思います。
委員	日進の大半の井戸は昔からソブ水と言って赤水が出ていました。かなり深く掘ると赤水は出ませんが、深く掘っている家は少なかったと思います。

事務局	<p>民俗部会の聞き取り調査でもソブ水のことはいろいろお聞きしており、水道が普及していなかった時代の人々の生活の様子として記載されることになると思います。また、自然編で取り上げる場合は、地形・地質のところでは取り上げるのが適当ではないかと思います。今後の自然部会会議で確認したいと思います。</p>
代表	<p>よろしくお願いします。 他にご意見・ご質問はございませんか。 ないようですので、(2)自然編・民俗編の巻構成等については、本日ご意見をいただいたことについて部会で確認を行っていただくこととし、編集委員会として承認することとしてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
代表	<p>それでは、(2)自然編・民俗編の巻構成等について、今後の調査等の状況によっては変更になることも含め、現段階での予定として編集委員会として承認いたしました。ページ数に制限はありますが、市民に親しみやすい市史を目指して計画的に進めていただきますようよろしくお願いいたします。 次に協議事項(3)その他、について事務局から何かございますが。</p>
事務局	<p>特にございません。</p>
代表	<p>これで本日の協議事項はすべて終了いたしました。 ここで議事の進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>それでは、連絡事項の今後の会議等の予定についてご説明いたします。 この後、11月に第4回日進市編さん委員会を開催する予定です。今後の編集委員会は今年度に開催するような案件が生じた場合には、再度開催することもございます。その場合は、改めてご連絡差し上げたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>最後に武田教育部長より一言お礼を述べさせていただきます。</p>
教育部長	<p>本日はご多忙のところ集まりいただきとともに、貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。来年度は市史編さん事業が4年目となり、いよいよ執筆に入っていただくこととなります。事務局の人員体施についてご指摘をいただきましたが、市全体的に厳しい状況ではありますが、いい市史を完成できるようにできる限りのことをさせていただきますと考えております。今後ともご協力をお願いいたします。</p>
事務局	<p>これもちまして第4回編集委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。</p>
	<p>(午後2時10分 閉会)</p>